

外国人介護人材からみた 日本のケア水準について

実父の看取りを通して感じたこと

浜松未来総合専門学校
CHIT MAY OO (チ ッ メイ ウー)

1

■自己紹介

- 名前 CHIT MAY OO (チ ッ メイ ウー)
- 年齢 1998年生まれ (現在27歳)
- ミャンマー出身
- 母国で小学校教諭



2

■来日の動機

- 国内で内戦が始まり、将来がみえなかった
- 父親を看取ったことで介護に興味があった
- 日本の介護の質が高いことは知っていたが
体験してみたかった
- 安全で豊かな国に行きたかった
- 日本で学校に入って勉強をしたかった



3

■2022年 7月～10月まで母国で日本語を学ぶ

- 内戦が始まり、子供たちが学校に登校してこなくなった
- 学校も襲撃の対象となり閉鎖
- 退職し、日本語の勉強を開始



襲撃された小学校



小学校3年生の担任だった

4

■2022年 10月 浜松日本語学院 入学
ケアホーム三方原でアルバイト開始（介護補助員として採用）



レクリエーションで
茶娘を演じる



社会福祉法人 公友会



5

■2024年 4月浜松未来総合専門学校国際介護福祉科入学



6

■日本の介護を勉強して

- オムツの質の高さ
- 個人を尊重する、個別ケアの考え方
- チームケアの実践
- 介護福祉士の養成カリキュラムは専門的知識を学ぶ学校、日本の介護はレベルが高い

7

■オムツ体験をとおして



テナ
(スウェーデン)



- 装着して違和感がなく普通に歩けた
- ムレは感じなかった
- 吸収力がよかった
- 排尿後の不快感や尿臭はなかった
- ポリマーのベタ付きがなかった

8

■ウォッシュクリーム



9

■オムツ体験をとおして（回想）



専門学校卒業時 父親と母親と弟
父親は2年後に他界

- 父 62歳で死去（肺がん）
- 主介護者は兄（自営業）
- 母は洗濯係
- 22歳の私は、教員をしながら介護を手伝う
- ミャンマーは暑い、湿気が多い
- 父はリハビリパンツを嫌がった
- 失禁のたびに着替え
- 父の部屋は尿臭があった

10

■オムツ体験をとおして（感想）



元気だった頃の父（50歳）

- 父にテーナを使ったかった
- 母に楽をさせたかった
- 尿臭のないお部屋で父を看取りたかった
- アルバイトと学校で勉強し、知識や技術を身につけた一方で、父により介護をしたかったという気持ちが増している
- 日本の高齢者は、質の高いケアを受けることができ、うらやましい

11

■日本の皆さんへのメッセージ

- テクノロジーを活かした介護は必要
- 介護の技術や考え方は発展しているが、ロボットだけでは限界がある
- **日本のケア水準の高さ**を知ってほしい
- 介護の仕事は感謝できる、**素晴らしい仕事**
- 誰にでもできる仕事ではないからこそ、**専門性が必要**
- **外国人介護人材**として活躍する私たちのことを**知ってほしい**

12

■これから

- **介護福祉士の国家試験**を取得
- 専門性の高い、介護福祉士として活躍したい
- 安全な日本で暮らし続けたい
- 母国に一時帰国した時に、**日本のケア水準の高さ**を発信したい
- 母国の母が71歳となり、今後介護が必要な状況になった時に、**家族に介護の方法を教えたい**

13

ご清聴ありがとうございました



14